

番組小学校創設150周年記念シンポジウム

平成30年度
文化庁 地域の美術館・
歴史博物館を
中核としたクラスター
形成事業

学校資料の 活用を考える

— 学校資料の価値と可能性 —

3.10²⁰¹⁹
日

10:00-15:30 開場 9:30

場所 京都市学校歴史博物館 2階講堂

定員 100名(事前申込み先着順)
詳しくは裏面をご覧ください。

対象 中学生以上

主催 京都歴史文化施設クラスター実行委員会
京都市学校歴史博物館

手話通訳あり(10日前までに要予約)

聴講料無料(別途入館料¥200が必要)

 京都市学校歴史博物館

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437
TEL:075-344-1305 <http://kyo-gakurehaku.jp>

プログラム

1 シンポジウム開催にあたって(10:00-10:05)

2 第一部(10:05-12:00)

「学校資料の活用 - 京都府・静岡県・長野県 -」
和崎 光太郎(京都市学校歴史博物館)

「小学校における学校資料の活用
- 開智小学校と旧開智学校 -」
遠藤 正教(旧開智学校)

「高等学校と博物館の連携による学校資料の活用」
村野 正景(京都府京都文化博物館)

第一部 質疑応答

3 第二部(13:00-15:00)

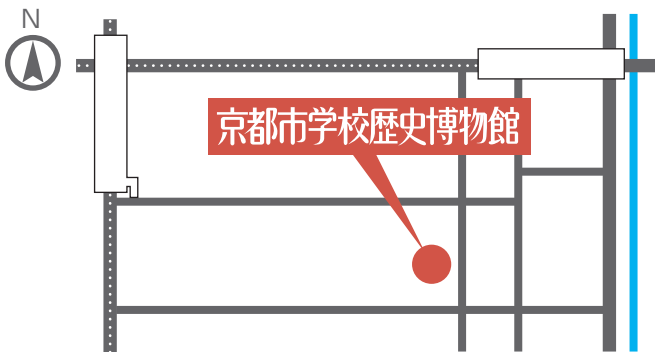
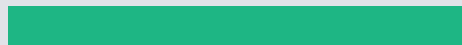
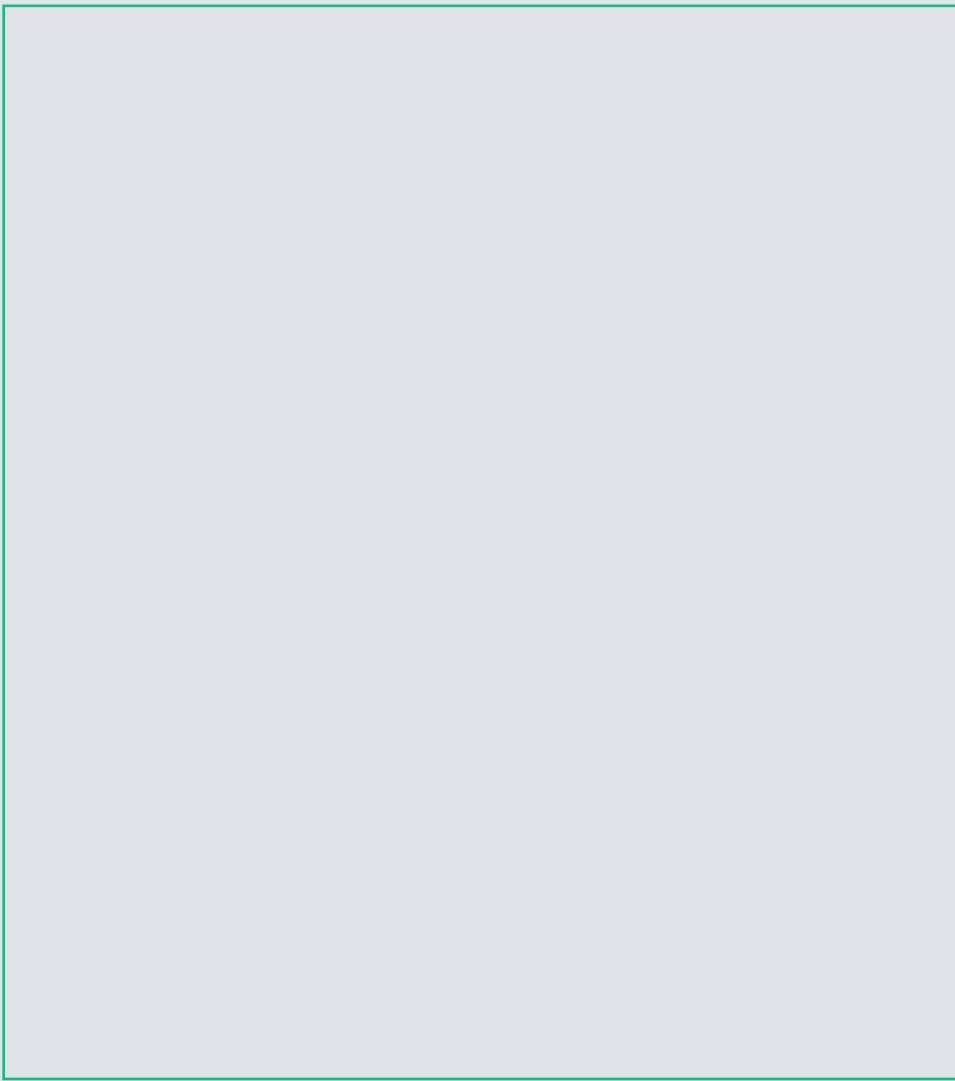
「何もないと思える学校で、
学校資料を活用する方略について」
三原 慎吾(大学入試センター)

「学校資料の資料的価値とその活用」
大平 聡(宮城学院女子大学)

「日本教育史研究における学校資料の活用」
宮坂 朋幸(大阪商業大学)

第二部 質疑応答

4 総合討論(15:00-15:30)



京都市学校歴史博物館

